八潮中央総合病院 院外広報誌

YBJGA 005-32

ふれあい

2023 10月

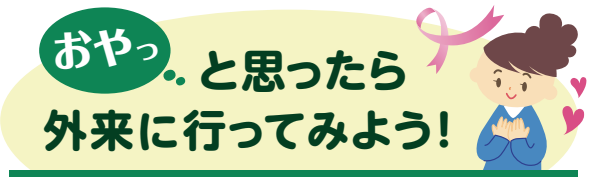
発行:医療法人 社団協友会 八潮中央総合病院　編集:広報委員会　〒340-0814 埼玉県八潮市南川崎845番地　TEL.0570-07-1131／FAX.048-997-2135

10月はピンクリボン月間！女性なら誰もがなりうる乳がん

自分で見て、触れて、健診に行ってみよう！

毎年10月はピンクリボン月間といって乳がん検診啓発月間です。当院では２階検診センターにて年に1度の日曜乳がん検診を行います。

日頃、仕事や育児、介護などでなかなか検診を受けるチャンスがない方、乳がんについて質問してみたいという方などには絶好の機会となりますのでお気軽にお申し込みください。



専門医 本間院長が解説します！

近年、日本人の乳がん罹患率が増加傾向にあり9人に1人の女性が乳がんになると言われています。乳がんの闘病をされた著名人の方々も多く、40代後半ともなると同級生の数人が乳がんになったなどという噂を聞くようになります。毎年、「ふれあい」でも秋になると乳がん特集を行っていますが、乳がんに関してなかなか根強い誤解が解けない状態にあります。また同じことを書いていると思われる方もいらっしゃると思いますが、大事なことなのでしつこく説明させていただきますね。

よくある誤解 その1

✕ **家族が乳がんでなければ乳がんにはならない**

○ **血のつながった方でがんの方がいらっしゃらない方でも乳がんになる**

血族で初めてがんになる乳がん患者さんは珍しくありません。誰でもなりうる病気として意識し、月に１度のセルフチェックと定期的な検診受診をしましょう。

よくある誤解 その2

✕ **もう生理も終わったし乳がんにはならないはず。若ぶっているみたいで健診に行くのは恥ずかしい**

○ **いまや好発年齢と言われた40代後半を凌いで60代以上の乳がんが急増。定期的な検診受診は大人の証明**

乳がんのリスクには閉経後肥満、糖尿病、飲酒、喫煙、睡眠不足があります。また定期的な運動は乳がんのリスクを減少させる効果があります。暴飲暴食を避け、定期的な運動と良質な睡眠をとることは自分でできる最大の対策となります。分かってはいるけれどなかなかできるものではない、と諦めていませんか？意識してちょっとでよいので行動に移し継続することから始めましょう。それでも乳がんになってしまうことはありますが、成人病対策にはなりますし、がんと闘う時に大きな支えとなります。２年に一度の検診受診が基本ですが、リスクが高い方は毎年の検診受診をお勧めします。検診と検診の間に発症する乳がんもありますので、月に１度の自己検診は大事です。

外科

本間 恵（ほんま めぐみ）

【専門】
乳腺疾患／甲状腺疾患／救急医療

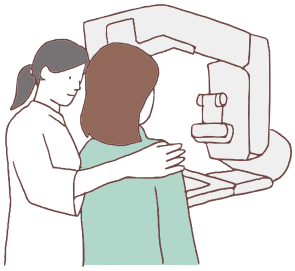
【資格】
日本外科学会専門医／乳腺専門医／マンモグラフィー読影医／ICLSプロバイダー／JATECプロバイダー／ISLSプロバイダー

- 乳房超音波講習会終了
- がんリハビリテーション研修会終了
- がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会終了
- 医師のための総合リハビリテーション講座修了

よくある誤解 その3

✕ 年を取ってからの乳がんは進みが遅いので放っておいても大丈夫

○ 年齢にかかわらず乳がんにはおとなしいものもあれば手強いものもある



要介護の方で着替えや入浴の時に介護士さんに発見していただいた乳がんというのも珍しくはありません。おとなしめのものであれば全身状態を考えてホルモン療法の内服だけで治療することもあります。一方でかなり悪性度の高い乳がんもあり、手術や化学療法などを行わないと太刀打ちできないようなものも少なくありません。そのような場合は、進行するとがんが皮膚を貫いて出血したり浸出液が出たりと処置が連日必要になってしまいます。そうならないうちに歩けてマンモグラフィーが撮れる方は検診を受けていただくとよいと思います。歩けなくなった場合は、入浴の時に触診をするなども必要だと思います。気づいたら早めに受診するようにしてください。

よくある誤解 その4

✕ 定期的に内科受診しているから乳がんになったら主治医が気付いてくれるはず

○ 乳房の診察は患者さんが要望しない限り、現代の他科医師は診察しない

近年、医師による性的なハラスメントが話題になり、かかりつけの内科の先生方もあまり乳房を露出して聴診をすることもほとんどなくなってきたと思います。昭和の時代でしたら内科の先生方にもう少し早い時期に見つけていただいていたような乳がんも、現代では毎月心臓病や喘息で聴診していただいていたのにもかかわらず、かなり大きくなって皮膚に達するようになってから発見されるということも珍しくなくなりました。乳房について他科医師は患者さんが診てほしいとおっしゃらない限りは、見たり触れたりしたら訴えられるかもという思いで接しているはずです。聴診の時に小指が乳房に触れただけで大騒ぎになったという例を聞いたことがあります。良いのか悪いのか今はそのような時代なのです。定期的にクリニックに行っているから大丈夫だろう、と思うのは間違い。だからこそ月１回の自己検診と１，２年に１度の検診受診が重要なのです。

よくある誤解 その5

✕ マンモグラフィーでの被ばくでむしろ乳がんを誘発する

○ マンモグラフィーによる被ばくは低線量被爆であり通常乳がんの発生リスクにはならない

ただし、血縁の中に小児期の白血病の方がいらっしゃるとか、10代や20代のがんや肉腫などが多発しているような方の場合、また、乳がん卵巣がんが多発する家系の方などの場合は、低線量被爆でも乳がんのリスクになる可能性があるため、超音波検査やMRI検査による検診をお勧めします。

よくある誤解 その6

✕ マンモグラフィーだと引っかかって超音波検査で大丈夫だから、これからは超音波検査だけやればよい

○ マンモグラフィーと超音波検査は長所短所を補い合うような関係

乳腺組織が多くマンモグラフィーで白っぽく映る高濃度乳房や不均一高濃度乳房の方は超音波検査の併用をお勧めします。マンモグラフィーでは乳腺も白く病変も白いため、病変の見逃しリスクが生じるためです。一方、マンモグラフィーは石灰化病変の描出が得意です。腫瘤をまだ作らないステージ0（ゼロ）の乳がんを発見できるのです。これこそがマンモグラフィーが40代以上の検診の基本となっている理由です。命の影響のない状態の乳がんを発見することができるのです。月経前の乳房の張りのある時期を避けて検査していただけると、苦痛も少なめで済みます。

当院の乳がん検診は日本乳がん検診精度管理中央機構のマンモグラフィー講習、超音波検査講習を修了し試験に合格した複数の女性技師と医師で検査・判定を行っており、検査機器も新病院になってから購入した新しく画質の良いものです。皆様の期待におこえたできるよう日々精度の高い検診を目標に努力しています。40歳以上の検診は基本マンモグラフィーが推奨されますが、当院ではオプション追加あるいは単独の超音波検査による検診も可能です。高濃度乳腺、不均一高濃度乳腺の方には超音波検査追加、また豊胸術後、妊娠・授乳期の検診としての単独超音波検査が可能です。当院２階健診センターへぜひご相談ください。

文責　外科　本間

日曜 乳がん検診

日程 2023年 10月 29日（日）

お問い合わせ 八潮中央総合病院 健診センター
048-998-8001
受付時間 月曜日～金曜日 8:30～17:00

浅井医師が「侍Japan」の選手をメディカルチェック

当院副院長の浅井秀明医師（整形外科）が、このほど「侍Japan」の選手のメディカルチェックを行いました。

これは、公益財団法人日本スポーツ協会の公認スポーツドクターである浅井医師が、同協会から依頼を受けて「侍Japan」メンバーの選手たちのメディカルチェックを実施したもので、U12（12歳以下）、U22（22歳以下）、社会人の3チームのメディカルチェックを行ったものです。

社会人のメディカルチェックの際は、当院リハビリテーション科の栁田作業療法士及び中村理学療法士の2名が浅井医師に同行しました。

浅井医師は、一昨年8月から9月に開催された「TOKYO2020オリンピック・パラリンピック大会」の際にもスポーツドクターとして参加し、選手村診療所において国内外の選手たちの治療にあたりました。

▲浅井秀明医師とリハビリテーション科スタッフ

防災訓練を実施しました！

8月1日（火）午後、令和5年度の防災訓練を実施しました。この訓練は毎年定期的に実施しており、火災発生時において患者さまの安全を確保するため、初期消火や、患者さまの避難・誘導・通報の行動が速やかにできるよう訓練するとともに、職員の防災意識の高揚を図るために実施するものです。

午後1時に、5A病棟において「訓練の火災発生」を確認し初期消火を実施。各病棟では、患者さまの誘導にあたり、誘導方法・誘導ルート・誘導順番を考慮しながら実施した後、救急外来前に設置された災害対策本部に報告を行いました。

その後、訓練のご指導をお願いした八潮消防署の署員の方々のご指導で「水消火器による消火訓練」を行い、訓練の全工程を終了しました。

訓練の実施にあたり、患者さまのご理解ご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。

大原中生徒がボランティア体験

八潮市社会福祉協議会では毎年7月から8月、市内の事業所を対象に「ボランティア体験プログラム」事業を実施しており、当院もこの事業に参加してボランティアの受け入れを行っております。

今年も7月25日から8月25日にかけて延べ23人のボランティアの皆さんを受け入れて、院内で「患者さまの身の回りのお世話」などを体験していただきました。

8月3日には、大原中学校1学年の後藤咲絵さんと岩本菜花さんのお二人が午前10時から午後1時まで、ベッドシーツ交換、食事の配膳・下膳、車いす体験、清拭などを体験していただきました。

お二人は、「以前から病院の仕事に関心があり一度体験してみたかった」と話しており、体験の感想として、「想像していたよりもやることがたくさんあり大変だなと思いましたが、患者さまが喜んでくれたのでやりがいがありました」と話していました。

【左】後藤咲絵さん
【右】岩本菜花さん

出前講座 伊草団地で熱中症対策と筋トレ・ストレッチ講座

8月17日（木）午前、伊草団地集会所において、当院リハビリテーション科職員による熱中症対策及び筋トレ・ストレッチ講座を実施しました。これは伊草団地自治町内会からの依頼を受け実施したもので、講師はリハビリテーション科の沢田理学療法士がつとめさせていただきました。

前半は「熱中症対策講座」で、熱中症の原因、熱中症の条件、熱中症が疑われる主な症状の解説や、現場での応急処置についてお話しました。

後半は「筋トレ・ストレッチ講座」で、柔軟な体をつくるために首・おしりなどのストレッチの実技を行い、その後の筋トレは、つま先上げ、大腿四頭筋、下腿三頭筋などの実技を行いました。

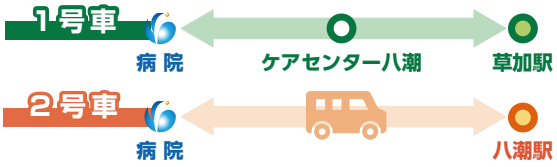
当日集まった20人の会員の皆さんは、最後まで熱心にご参加いただきました。

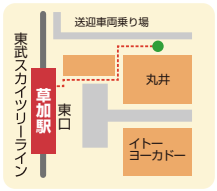
▲沢田理学療法士

送迎車両（ワゴン車）時刻表

※日曜・祝日は運休いたします。

令和4年5月23日現在

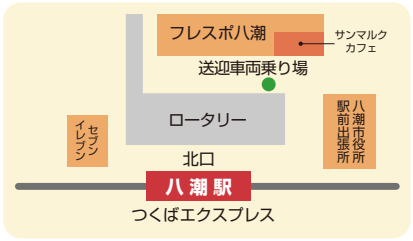




●草加駅 東口

草加駅東口ロータリーから丸井様と高砂ブックス様の間の通路を抜けて、丸井様の北出入り口付近の歩道でお待ちください。

●ケアセンター八潮 正面玄関前



●八潮駅 北口

フレスポ八潮サンマルクカフェ様前あたりに停車。

※店舗の営業に支障のないようにお待ちください。

1号車の発車時刻 草加駅東口行き

八潮中央総合病院		草加駅東口		ケアセンター八潮(病院行き)	
		7:30	発	7:40	発
		7:45	発	7:55	発
		8:00	発	8:15	発
8:25	発	8:55	発	9:05	発
9:20	発	9:50	発	10:00	発
10:10	発	10:40	発	10:50	発
11:10	発	11:40	発	11:50	発
12:30	発	13:00	発	13:10	発
13:20	発	13:50	発	14:00	発
14:00	発	14:30	発	14:40	発
15:00	発	15:30	発	15:40	発
16:00	発	16:30	発	16:40	発
17:00	発	17:30	発	17:40	発
18:15	発	18:45	発	18:55	発
19:00	発	—		—	

2号車の発車時刻 八潮駅北口行き

八潮中央総合病院			八潮駅北口	
7:30	発	⟷	7:35	発
7:45	発	⟷	7:50	発
8:00	発	⟷	8:05	発
8:05	発	⟷	8:10	発
8:20	発	⟷	8:25	発
8:40	発	⟷	8:47	発
9:00	発	⟷	9:05	発
9:15	発	⟷	9:20	発
9:30	発	⟷	9:35	発
9:50	発	⟷	9:55	発
10:00	発	⟷	10:05	発
10:15	発	⟷	10:20	発
10:30	発	⟷	10:35	発
10:50	発	⟷	10:55	発
11:00	発	⟷	11:05	発
11:20	発	⟷	11:25	発
11:40	発	⟷	11:45	発
12:05	発	⟷	12:10	発
12:20	発	⟷	12:25	発
12:40	発	⟷	12:45	発
13:00	発	⟷	13:05	発
13:10	発	⟷	13:15	発
13:20	発	⟷	13:25	発
13:40	発	⟷	13:45	発
14:30	発	⟷	14:35	発
15:10	発	⟷	15:15	発
15:40	発	⟷	15:45	発
16:10	発	⟷	16:15	発
16:40	発	⟷	16:45	発
17:20	発	⟷	17:25	発
17:40	発	⟷	17:45	発
17:55	発	⟷	18:00	発
18:15	発	⟷	18:20	発
18:30	発	⟷	18:35	発
19:20	発	→	—	発

※1病院発草加駅行きの車両は、ケアセンター八潮経由となります。（草加駅から当院までの所要時間は、およそ25～30分です。）

※2 時刻表内の青文字の発車時刻の便は、土曜日は運休いたします。

※3 交通状況により遅れることがございます。

※4 乗降における介助等は行っておりません。

病院理念

「地域から信頼される病院」

基本方針

私たちは、以下の基本方針を遵守し、信頼される病院を目指します。

1. 安心・安全な医療の提供
2. 紹介患者・救急患者の積極的な受入体制
3. 急性期からリハビリ、終末期医療の機能と充実
4. 地域包括ケアシステムの推進
5. 教育研修の向上と研鑽
6. 患者さまの人権を尊重した医療の提供

患者さまの権利

私たちは、以下の権利を尊重します。

1. 適切な医療を受ける権利
2. 人権とプライバシーが保護される権利
3. 医療情報の説明を受ける権利
4. 医療行為を選択する権利
5. 診療録の開示を求める権利
6. 他の医師に意見を求める権利（セカンドオピニオン）

八潮中央総合病院の概要

名 称

医療法人　社団協友会　八潮中央総合病院

所在地

〒340-0814　八潮市南川崎845番地

設立年月日

昭和48年3月24日

建 物

鉄筋コンクリート造5階建・免震構造

認可病床数

250床（一般186床・緩和ケア14床・回復期リハ50床）

診療科目

内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、糖尿病内科、神経内科、内視鏡内科、人工透析内科、緩和ケア内科、リウマチ科、外科、呼吸器外科、心臓血管外科、消化器外科、乳腺外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、小児科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科（齋藤 勇一郎）

診療時間

平 日　9:00～13:00・14:00～17:30
〈受付時間〉　8:00～12:00・12:30～16:30

土曜日　9:00～13:00
〈受付時間〉　8:00～12:00

※日・祝日は休診。但し救急外来は24時間受付しております。

上尾中央医科グループ　医療法人 社団協友会

八潮中央総合病院

〒340-0814 埼玉県八潮市南川崎845番地
TEL 0570-07-1131 FAX 048-997-2135
https://yashio-cgh.jp
病院ホームページ▶

日本医療機能評価機構認定